

令和5年度 管理業務主任者試験解答速報 【12/3 20:30版】

問1	2	問11	2	問21	3	問31	3	問41	3
問2	2	問12	2	問22	3	問32	4	問42	1
問3	2	問13	3	問23	1	問33	2	問43	3
問4	4	問14	2	問24	1	問34	3	問44	2
問5	4	問15	1	問25	4	問35	2	問45	2
問6	1	問16	3	問26	2	問36	4	問46	3
問7	4	問17	1	問27	2	問37	2	問47	2
問8	1	問18	1	問28	1	問38	4	問48	2
問9	3	問19	4	問29	4	問39	4	問49	1
問10	4	問20	4	問30	3	問40	3	問50	3

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは[12/13\(水\)](#)に発表予定です。あらかじめご了承ください。

TAC 管理業務主任者講座

令和5年度管理業務主任者試験講評

（本試験所感）

問題全体の難易度は、昨年度と同様、ひっかけ問題、個数問題（15問）や組合せ問題（7問）があったものの、解答を出しやすい問題が多かった。問題配列に変更があったが、出題論点が定着している「賃貸住宅管理法」「品確法」「宅建業法」「個人情報保護法」などが中心に出題された。今年度も、いかに過去問題の論点を把握し、同様論点の繰り返し問題から1点でも正解につなげ、得点を伸ばせたかが、合否を分ける要因となったのではないかと。

（民法・区分）

今年、民法からは4問出題された。内容的にはいずれも基本事項を問う問題だった。区分所有法は、民法・民事執行法との複合問題や団地の一括建替えに関する問題等、解答しにくい問題もあった。民法・区分所有法全体としては、民法は昨年より易しく、区分所有法は昨年より難しかったと思われる。建替え等円滑化法は今年出題されなかった。

（規約・会計）

標準管理規約や標準管理委託契約書は、基本的知識を踏まえた出題であったが、組合せ問題や個数問題が多く、判断に迷う問題も散見された。会計は、3問出題され、仕訳だけでなく、貸借対照表も出題されたが、過去問を理解していれば解けたのではなかろうか。

（維持・保全）

設備や建築法令は昨年につづき過去問で解けるものが多かった。また、長期修繕計画作成ガイドラインは昨年の3問から4問に増加した。個数問題が2問、組合せ問題が1問出題されたので正確な知識が必要であった。

（適正化法）

昨年度と比べ、個数問題は昨年より1問増え3問出題され、組合せ問題は昨年より1問減り1問出題された。しかし、難しい通達論点はなく、正確な知識さえあれば、比較的解答を出しやすかったと思われる。